

7. 受賞等

ここでは、気象研究所の職員が平成 26 年度に他機関から受けた表彰、及び取得した学位の一覧を掲載している。

受賞には、受賞者の氏名、賞の名称、表彰した機関名、表彰年月日を掲載している。

学位取得には、学位取得者の氏名、学位名、学位授与大学、取得年月日及び学位取得の対象となった論文名を掲載している。

7.1. 受賞

弓本桂也	大気環境学会論文賞、(公社)大気環境学会、平成 26 年 9 月 18 日
露木 義	気象集誌論文賞、(公社)日本気象学会、平成 27 年 1 月 28 日

7.2. 学位取得

川畑拓矢

学 位：博士（理学）（京都大学、平成 26 年 5 月 23 日）

学術論文：Assimilation and Forecast Studies on Localized Heavy Rainfall Events Using a Cloud-Resolving 4-Dimensional Variational Data Assimilation System（雲解像 4 次元変分法データ同化システムを用いた局地豪雨に関するデータ同化および予報に関する研究）

小林昭夫

学 位：博士（理学）（京都大学、平成 27 年 3 月 23 日）

学術論文：測地データから推定された南海トラフにおける長期的スロースリップの数十年スケールにおける時空間分布に関する研究

8. 研究交流

ここでは、気象研究所の職員が平成 26 年度に外国出張等により出席・参加した海外で行われた国際会議・研究集会・講演、気象研究所が平成 26 年度に他機関から受け入れた研究者、及び海外研究機関からの来訪者の一覧を掲載している。

8. 1. 外国出張等

- | | |
|-------|---|
| 青木輝夫 | <ul style="list-style-type: none"> ・ グリーンランドにおける積雪及び氷床観測，デンマーク，H26. 5. 25～6. 22 ・ 積雪粒径国際比較結果ワークショップ及び積雪微細構造マイクロ波放射伝達ワークショップへの参加，イギリス，H26. 8. 3～10 ・ 積雪物理量の観測及びモデリングに関する共同研究打合せ，フランス，H26. 12. 6～13 ・ ノルウェー・ニーオルスンにおける放射計のメンテナンスと積雪観測，ノルウェー，H27. 3. 3～14 |
| 青梨和正 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 降水観測計画（PMM）サイエンスチーム会合，アメリカ，H26. 8. 3～10 ・ 第 95 回アメリカ気象学会年次会合（AMS）等への出席，アメリカ，H27. 1. 4～10 |
| 足立アホロ | <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 9 回気象レーダーおよび水文学に関する国際シンポジウムへの出席，アメリカ，H26. 4. 5～12 ・ 第 8 回欧州気象・水文レーダー会議への出席及び発表，ドイツ，H26. 8. 30～9. 7 |
| 足立光司 | <ul style="list-style-type: none"> ・ アメリカエネルギー省環境分子科学研究所ユーザー会議参加，アメリカ，H26. 5. 5～9 ・ 国際エアロゾル会議 2014 への出席，韓国，H26. 8. 29～9. 2 ・ フランス放射線防護原子力安全研究所での研究会合出席，フランス，H26. 9. 14～21 ・ アマゾン地域における大気・エアロゾル観測プロジェクトへの参加及び第 33 回アメリカエアロゾル学会（AAAR）出席，ブラジル，アメリカ，H26. 10. 9～26 ・ アリゾナ州立大学での透過型電子顕微鏡分析実験，アメリカ，H26. 11. 5～21 ・ アメリカ地球物理学連合（AGU）第 47 回秋季大会等への出席，アメリカ，H26. 12. 14～20 |
| 五十嵐康人 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際エアロゾル会議 2014 への出席，韓国，H26. 8. 28～9. 1 ・ フランス放射線防護原子力安全研究所での研究会合出席，フランス，H26. 9. 14～21 |
| 石井正好 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 2 回国際高品質海洋データベースに関わるワークショップ、第 4 回海洋気候学の進展に関わる JCOMM ワークショップ、及び第 1 回 ICOADS 付加価値データセットワークショップへの参加，アメリカ，H26. 6. 3～15 |
| 石橋俊之 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 9 回アジア太平洋リモートセンシングシンポジウム出席，中国，H26. 10. 12～17 |
| 石元裕史 | <ul style="list-style-type: none"> ・ アメリカ地球物理学連合（AGU）第 47 回秋季大会等への出席，アメリカ，H26. 12. 14～21 |
| 今田由紀子 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 気候変動の検出と原因特定に関する国際グループの年次総会への出席，アメリカ，H27. 1. 20～25 ・ エルニーニョ・南方振動現象（ENSO）ワークショップ出席，オーストラリア，H27. 2. 2～7 |
| 確氷典久 | <ul style="list-style-type: none"> ・ アメリカ地球物理学連合（AGU）第 47 回秋季大会等への出席，アメリカ，H26. 12. 14～ |

21

- ・ 第2回環境省-北太平洋海洋科学機構 (PICES) 津波漂流物プロジェクトサイエンスチーム会合出席, アメリカ, H27. 3. 15~20
- 内山明博
 - ・ 放射計の再設置と保守作業, 中国, H26. 9. 16~24
 - ・ ハワイ島における日射計検定観測 (機器の設置), アメリカ, H26. 10. 27~11. 2
 - ・ 放射計の比較観測と保守, 中国, H27. 3. 13~18
- 遠藤洋和
 - ・ インドネシアにおける気象測器の設置, インドネシア, H26. 11. 9~14
 - ・ 第95回アメリカ気象学会年次会合 (AMS) 等への出席, アメリカ, H27. 1. 4~10
- 大島 長
 - ・ 第13回大気化学全球汚染国際委員会/国際大気化学協同研究計画 (iCACGP/IGAC) 合同科学会合出席, ブラジル, H26. 9. 20~28
 - ・ アメリカ地球物理学連合 (AGU) 第47回秋季大会等への出席, アメリカ, H26. 12. 14~20
- 大塚道子
 - ・ データ同化とメソアンサンブル予報についての研修ワークショップへの出席, 中国, H26. 12. 3~5
- 小木曾仁
 - ・ 緊急地震速報に関する国際会議第3回会合出席, アメリカ, H26. 9. 2~7
 - ・ アメリカ地球物理学連合 (AGU) 第47回秋季大会等への出席, アメリカ, H26. 12. 14~21
- 尾瀬智昭
 - ・ 第7回全球エネルギーと水収支 (GEWEX) に関する国際科学会議ならびに気候変動と予測可能性会合 (CLIVAR) 出席, オランダ, H26. 7. 13~20
- 小山 亮
 - ・ UNESCAP/WMO 台風委員会・WMO/UNESCAP 熱帯低気圧パネル第3回合同会合への出席, タイ, H27. 2. 11~13
- 梶野瑞王
 - ・ 欧州地球科学連合 2014 年総会およびカールスルーエ工科大学における研究打合せ, オーストラリア・ドイツ, H26. 4. 27~5. 7
 - ・ 環境と健康国際会議 (ISEH) 出席, 中国, H26. 7. 4~6
 - ・ 国際エアロゾル会議 2014 への出席, 韓国, H26. 8. 29~9. 1
 - ・ フランス放射線防護原子力安全研究所での研究会合及び放射線生態学・環境放射能国際会議の出席, スペイン・フランス, H26. 9. 6~21
 - ・ 日中韓越境大気汚染プロジェクト (LTP) 作業部会への出席, 韓国, H26. 11. 18~20
 - ・ 第6回領域化学輸送モデル相互比較プロジェクト会合への出席, 中国, H27. 2. 5~8
- 加藤輝之
 - ・ 第10回メソスケール気象と熱帯低気圧に関する国際会議 (ICMCS-X) への出席, アメリカ, H26. 9. 14~20
- 蒲地政文
 - ・ 日米震災起因洋上漂流物に係る総括会議出席, アメリカ, H26. 5. 12~16
 - ・ 気候の変動性と予測可能性に関する研究/全球統合化と観測パネル (CLIVAR/GSOP) 委員会出席, オランダ, H26. 7. 13~17
 - ・ 全球海洋データ同化実験海洋概観プロジェクト科学運営委員会への出席及び大気物理学研究所との研究打合せ, 中国, H26. 10. 10~18
 - ・ 海洋コアサービスに関する会議への出席, フランス, H26. 12. 15~19
 - ・ 第2回環境省-北太平洋海洋科学機構 (PICES) 津波漂流物プロジェクトサイエンスチーム会合出席, アメリカ, H27. 3. 15~20
- 川合秀明
 - ・ 雲の相互比較、プロセス研究、評価、及び雲フィードバックに関する会合への参加, オランダ, H26. 7. 7~13
 - ・ 「モデルチューニングワークショップ」及び「世界気候研究計画 (WCRP) 結合モデル

- 部会 (WGCM) 第 18 回会合」への参加, ドイツ, H26. 10. 5～12
- 川瀬宏明・東アジア地域気候ダウンスケーリング実験 (CORDEX-EA) 第 3 回地域気候モデリングワークショップへの出席, 韓国, H26. 8. 10～13
- 北畠尚子・第 8 回熱帯低気圧に関する国際ワークショップ (IWTC-VIII) 及び第 3 回熱帯低気圧上陸過程国際ワークショップ (IWTCLP-III) への出席, 韓国, H26. 12. 1～11
- 楠 昌司・第 7 回地球水エネルギー循環国際科学会議への出席, オランダ, H26. 7. 13～20
・国連大学研修プログラム「気候変化のダウン・スケーリング法とその応用」第 3 回研修への講師, スリランカ, H27. 3. 30～4. 3
- 工藤 玲・アメリカ地球物理学連合 (AGU) 第 47 回秋季大会等への出席, アメリカ, H26. 12. 15～20
- 國井 勝・アメリカ地球物理学連合 (AGU) 第 47 回秋季大会等への出席, アメリカ, H26. 12. 14～20
・香港天文台との高解像度データ同化、アンサンブル予報に関する打合せ, 中国, H27. 3. 18～21
- 倉賀野連・全球海洋データ同化実験海洋概観プロジェクト科学運営委員会への出席及び大気物理学研究所との研究打合せ, 中国, H26. 10. 10～18
・海面高度科学チーム会合及び衛星海面高度計 (ALTIKA) ワークショップへの参加, ドイツ, H26. 10. 26～11. 2
- 黒田友二・第 14 回ヨーロッパ気象学会 (EMS) 年次総会・第 10 回ヨーロッパ応用気候学会 (ECAC) 合同会議への出席, チェコ, H26. 10. 4～12
・アメリカ地球物理学連合 (AGU) 第 47 回秋季大会等への出席, アメリカ, H26. 12. 14～21
・太陽と気候結合に関する会議出席及びドイツヘルムホルツ海洋研究所訪問, ドイツ, H27. 3. 15～22
- 小杉如央・統合海洋生物地球化学・生態系研究 (IMBER) オープン科学コンファレンス 2014 への出席, ノルウェー, H26. 6. 23～27
・海洋地球研究船「みらい」MR14-05 次航海乗船, アメリカほか, H26. 8. 27～10. 10
- 小林ちあき・成層圏過程気候影響計画 (SPARC) データ同化 (DA) ワークショップ及び成層圏再解析比較プロジェクト (S-RIP) ワークショップ出席, アメリカ, H26. 9. 7～14
- 齋藤和雄・サンパウロ大学でのセミナー実施と TOMACS/RDP に関する Pereira 教授との研究協力, ブラジル, H26. 5. 28～6. 5
・世界天気公開科学会議 (WWOSC) 出席, カナダ, H26. 8. 13～23
・第 95 回アメリカ気象学会年次会合 (AMS) 等への出席, アメリカ, H27. 1. 3～10
- 酒井 哲・水蒸気ラマンライダーに関する観測実験, アメリカ, H27. 1. 4～2. 4
- 坂本 圭・北太平洋海洋科学機構 2014 年次会合への出席, 韓国, H26. 10. 19～24
・アメリカ地球物理学連合 (AGU) 第 47 回秋季大会等への出席, アメリカ, H26. 12. 14～20
- 佐々木秀孝・第 3 回国際ランド地域気候モデリングワークショップ出席, スウェーデン, H26. 6. 15～21
- 笹野大輔・学術研究船白鳳丸 KH-14-3 次公開への乗船, アメリカほか, H26. 6. 23～8. 11
・東京海洋大学練習船「海鷹丸」UM-14-08 次航海への乗船, オーストラリアほか, H27. 1. 6～2. 9
- 佐藤英一・第 27 回アメリカ気象学会シビアローカルストームに関する会議への参加, アメリカ,

H26. 11. 2～9

- 澤 庸介
- ・ 民間航空機を利用した大気観測に関する科学シンポジウム参加, フランス, H26. 5. 11～16
 - ・ 航空機上での大気資料サンプリング, フランス, H26. 8. 27～28, 9. 16～17, 10. 15～16, 11. 18～19
 - ・ 全球環境大気情報のための民間航空機を利用した大気観測 IGAS 第2回会合への出席, スイス, H26. 11. 24～28
 - ・ 航空機上での大気試料サンプリング, オーストラリア, H27. 3. 23～25
- 沢田雅洋
- ・ 第8回熱帯低気圧に関する国際ワークショップ (IWTC-VIII) 及び第3回熱帯低気圧上陸過程国際ワークショップ (IWTCLP-III) への出席, 韓国, H26. 12. 1～7
- 嶋田宇大
- ・ 第10回メソスケール気象と熱帯低気圧に関する国際会議 (ICMCS-X) への出席, アメリカ, H26. 9. 14～21
- 小司禎教
- ・ 第10回メソスケール気象と熱帯低気圧に関する国際会議 (ICMCS-X) への出席, アメリカ, H26. 9. 14～20
 - ・ GPS 掩蔽観測技術と応用に関するワークショップへの出席及びインド国大気研究所訪問, インド, H27. 3. 15～21
- 関山 剛
- ・ フランス放射線防護原子力安全研究所での研究会合出席, フランス, H26. 9. 14～21
 - ・ エーロゾル予測のための国際協力 (ICAP) 第6回ワーキンググループ会合への出席, アメリカ, H26. 10. 19～26
 - ・ 第95回アメリカ気象学会年次会合 (AMS) 等への出席, アメリカ, H27. 1. 3～11
- 瀬古 弘
- ・ サンパウロ大学でのセミナー実施と TOMACS/RDP に関する Pereira 教授との研究協力, ブラジル, H26. 5. 28～6. 8
- 高木朗充
- ・ マヨン火山における GPS 観測及び地殻変動データ解析手法指導のため, フィリピン, H26. 6. 4～11
 - ・ JICA・JST 地球規模課題対応国際科学技術協力事業「フィリピン地震火山監視能力強化と防災情報の利活用促進」アジア地震学会出席, フィリピン, H26. 11. 17～20
- 高薮 出
- ・ 第3回国際ルンド地域気候モデリングワークショップ出席, スウェーデン, H26. 6. 15～21
 - ・ 高解像度気候シミュレーションによる将来予測と応用研究に関するワークショップへの出席, 台湾, H27. 1. 18～21
- 竹内義明
- ・ APEC 台風と社会研究センター (ACTS) 第3回運営委員会及び2014年 APEC 台風シンポジウムへの出席, 台湾, H26. 11. 3～6
 - ・ 観測システム研究・予測可能性実験 (THORPEX) 国際中核運営委員会 (ICSC) 第12回会合、世界天気計画 (WWRP) 科学運営委員会 (SSC) 第7回会合及び両委員会合同会合への出席, スイス, H26. 11. 15～20
- 津口裕茂
- ・ 第10回メソスケール気象と熱帯低気圧に関する国際会議 (ICMCS-X) への出席, アメリカ, H26. 9. 14～20
- 辻野博之
- ・ CLIVAR 主催の高解像度海洋気候モデリングに関するワークショップへの参加, ドイツ, H26. 4. 6～5. 16
 - ・ 海洋モデル駆動に関する小規模ワークショップへの出席, フランス, H27. 1. 28～2. 1
- 対馬弘晃
- ・ 「津波に強い地域づくり技術の向上に関する研究」プロジェクトに関するセミナー, チリ, H26. 8. 4～10

- ・「津波に強い地域づくり技術の向上に関する研究」プロジェクトに関する年次評価会合及びワーキンググループ打合せ出席, チリ, H26. 11. 26~30
- 角村 悟 ・ 2014 年欧州気象衛星開発機構気象衛星会議への出席, スイス, H26. 9. 21~27
- 坪井一寛 ・ 航空機上での大気試料サンプリング, フランス, H26. 12. 16~17, H27. 1. 14~15, 2. 17~18, 3. 17~18
- 出牛 真 ・ 第 95 回アメリカ気象学会年次会合 (AMS) 等への出席, アメリカ, H27. 1. 3~10
- 豊田隆寛 ・ 「海洋混合層に関する会合」への出席, 韓国, H26. 7. 22~25
- ・ 「海洋塩分科学と衛星海面塩分計ワークショップ」への出席, イギリス, H26. 11. 25~30
- ・ 「衛星データを用いた海氷パラメータ推定アルゴリズムおよび海氷データ同化に関するワークショップ」への出席, デンマーク, H27. 3. 16~20
- 直江寛明 ・ WMO/UNEP オゾン層破壊の科学アセスメント検討会議出席, スイス, H26. 6. 21~29
- ・ 第 95 回アメリカ気象学会年次会合 (AMS) 等への出席, アメリカ, H27. 1. 4~10
- 仲江川敏之 ・ WMO 気候委員会 (CC1) 等による「中央アメリカにおける農業リスク管理」会合出席, コスタリカ, H26. 4. 26~5. 5
- ・ JICA 専門家派遣「パナマ運河流域における気候変動の影響を踏まえた持続的な水循環システム開発 (GCM 解析) の研究指導, パナマ, H26. 10. 20~31, H27. 2. 25~3. 6
- ・ 世界気象機関 (WMO) 気候委員会 (CCI) 「適応とリスク管理のための気候情報」作業部会 (OPACE4) キックオフ会合への出席, エクアドル, H27. 3. 22~28
- 永田 雅 ・ 世界天気公開科学会議 (WWOSC) 出席, カナダ, H26. 8. 15~23
- 南雲信宏 ・ 第 10 回メソスケール気象と熱帯低気圧に関する国際会議 (ICMCS-X) への出席, アメリカ, H26. 9. 14~20
- 丹羽洋介 ・ 欧州地球科学連合 2014 年総会および第 10 回温室効果ガス観測に関する国際ワークショップへの参加, オーストラリア・オランダ, H26. 4. 26~5. 9
- ・ 大気トレーサー輸送モデル相互比較計画会合への参加, オランダ, H26. 6. 23~28
- ・ 全球環境大気情報のための民間航空機を利用した大気観測 IGAS 第 2 回会合への出席, スイス, H26. 11. 24~28
- ・ アメリカ地球物理学連合 (AGU) 第 47 回秋季大会等への出席, アメリカ, H26. 12. 14~22
- 庭野匡思 ・ グリーンランドにおける積雪及び氷床観測, デンマーク, H26. 5. 25~6. 22
- 橋本明弘 ・ 第 14 回アメリカ気象学会雲物理会議への出席と発表, アメリカ, H26. 7. 6~13
- ・ アメリカ地球物理学連合 (AGU) 第 47 回秋季大会等への出席, アメリカ, H26. 12. 14~21
- 林 修吾 ・ 第 95 回アメリカ気象学会年次会合 (AMS) 等への出席, アメリカ, H27. 1. 3~10
- 林 豊 ・ 「津波に強い地域づくり技術の向上に関する研究」プロジェクトに関するセミナー, チリ, H26. 8. 4~10
- 林元直樹 ・ 緊急地震速報に関する国際会議第 3 回会合出席, アメリカ, H26. 9. 2~7
- ・ アメリカ地球物理学連合 (AGU) 第 47 回秋季大会等への出席, アメリカ, H26. 12. 14~22
- 原田やよい ・ 成層圏過程気候影響計画 (SPARC) データ同化 (DA) ワークショップ及び成層圏再解析比較プロジェクト (S-RIP) ワークショップ出席, アメリカ, H26. 9. 7~14
- 藤井陽介 ・ 2014 年全球海洋データ同化実験海洋概観プロジェクト (GODAE OceanView) 観測システム評価タスクチーム会合への参加, フランス, H26. 12. 9~13

- ・ アメリカ地球物理学連合(AGU) 第 47 回秋季大会等への出席, アメリカ, H26. 12. 14～20
- 保坂征宏 ・ シベリア・ヤクーツクの観測施設における降水観測と施設視察, ロシア, H26. 7. 11～16
- 干場充之 ・ 緊急地震速報に関する国際会議第 3 回会合出席, アメリカ, H26. 9. 2～7
- ・ 韓国地質資源研究所 (KIGAM) における地震動即時予測に関する研究協力, 韓国, H26. 11. 10～13
- ・ リアルタイム地震減災プロジェクト (REAKT) の終了会議への出席, イタリア, H26. 11. 30～12. 5
- ・ アメリカ地球物理学連合(AGU) 第 47 回秋季大会等への出席, アメリカ, H26. 12. 15～20
- 眞木貴史 ・ 大気トレーサー輸送モデル相互比較計画会合への参加, オランダ, H26. 6. 23～28
- ・ フランス放射線防護原子力安全研究所での研究会合出席, フランス, H26. 9. 14～21
- ・ 第 7 回日中韓モンゴル黄砂共同研究第 1 作業部会会合への参加, 中国, H26. 11. 12～15
- ・ アメリカ地球物理学連合(AGU) 第 47 回秋季大会等への出席, アメリカ, H26. 12. 14～21
- ・ 世界気象機関 (WMO) 砂塵嵐の警戒及び影響評価のためのシステム (SDS-WAS) 第 4 回アジア地区運営グループ (RSG) 会合への参加, 中国, H27. 3. 9～12
- 益子 渉 ・ 第 27 回アメリカ気象学会シビアローカルストームに関する会議への参加, アメリカ, H26. 11. 2～8
- 三上正男 ・ モンゴル・ツォクトボオーにおける黄砂飛散観測, モンゴル, H26. 9. 13～18
- ・ 第 7 回日中韓モンゴル黄砂共同研究第 1 作業部会会合への参加, 中国, H26. 11. 12～15
- ・ 世界気象機関 (WMO) 砂塵嵐の警戒及び影響評価のためのシステム (SDS-WAS) 第 4 回アジア地区運営グループ (RSG) 会合への参加, 中国, H27. 3. 9～12
- 宮岡一樹 ・ 「津波に強い地域づくり技術の向上に関する研究」プロジェクトに関するセミナー, チリ, H26. 8. 4～10
- ・ アメリカ地球物理学連合(AGU) 第 47 回秋季大会等への出席, アメリカ, H26. 12. 15～20
- 村上正隆 ・ 気候改変研究に関する信託基金使途等についてのワークショップ及び WMO WWRP 天気改変計画専門家チーム会合への出席, アラブ首長国連邦, H26. 10. 26～31
- ・ アラブ首長国連邦主催の国際水サミットの一環として開催される人工降雨の将来見通しに関するパネルディスカッションへの参加, アラブ首長国連邦, H27. 1. 19～24
- ・ WMO・WWRP 気象改変に関する専門家チーム会合への参加, タイ, H27. 3. 16～21
- 村田昭彦 ・ 第 3 回国際ルンド地域気候モデリングワークショップ出席, スウェーデン, H26. 6. 15～21
- 毛利英明 ・ 第 4 回複雑系に関する学際シンポジウムへの出席, イタリア, H26. 9. 14～20
- 安田珠幾 ・ アメリカ地球物理学連合(AGU) 第 47 回秋季大会等への出席, アメリカ, H26. 12. 14～21
- 山口宗彦 ・ 台湾中央気象局数値予報業務開始 30 周年記念「台風の数値予報技術に関するワークショップ」への出席, 台湾, H26. 5. 19～23
- ・ 世界天気公開科学会議 (WWOSC) 出席, カナダ, H26. 8. 15～23

- ・ 第 8 回熱帯低気圧に関する国際ワークショップ (IWTC-VIII) 及び第 3 回熱帯低気圧上陸過程国際ワークショップ (IWTCLP-III) への出席, 韓国, H26. 12. 1～11
- 山崎明宏
 - ・ 放射計の再設置と保守作業, 中国, H26. 9. 16～24
 - ・ ハワイ島における日射計検定観測 (機器の設置), アメリカ, H26. 10. 27～11. 2, 11. 24～28
 - ・ 放射計の比較観測と保守, 中国, H27. 3. 3～18
- 弓本桂也
 - ・ 2014 年土壌性エアロゾル国際会議への出席, イタリア, H26. 5. 31～6. 7
 - ・ 黄砂・エアロゾル研究合同セミナー出席, 韓国, H26. 8. 21～22
 - ・ 第 5 回韓国静止環境監視衛星研究会議出席, 韓国, H26. 10. 6～9
 - ・ アメリカ地球物理学連合 (AGU) 第 47 回秋季大会等への出席, アメリカ, H26. 12. 14～22
- 横田 祥
 - ・ 第 10 回メソスケール気象と熱帯低気圧に関する国際会議 (ICMCS-X) への出席, アメリカ, H26. 9. 14～20
- 吉田康平
 - ・ 第 5 回高エネルギー粒子の大気流入と太陽活動の気候への役割に関する国際ワークショップ出席, ドイツ, H26. 5. 4～11
 - ・ 第 2 回第三次古気候モデル相互比較プロジェクト総会出席, ベルギー, H26. 5. 24～6. 1
 - ・ 第 95 回アメリカ気象学会年次会合 (AMS) 等への出席, アメリカ, H27. 1. 3～10
 - ・ 赤道準二年周期振動のモデリング及び再解析に関するワークショップ出席, カナダ, H27. 3. 15～20
- 吉田 智
 - ・ 第 15 回国際大気電気委員会および静止気象衛星搭載雷放電観測に関するサイエンスミーティングへの参加, アメリカ, H26. 6. 15～23
 - ・ 第 31 回国際電波科学連合科学シンポジウムへの参加, 中国, H26. 8. 18～23
- 和田章義
 - ・ 第 8 回熱帯低気圧に関する国際ワークショップ (IWTC-VIII) 及び第 3 回熱帯低気圧上陸過程国際ワークショップ (IWTCLP-III) への出席, 韓国, H26. 12. 1～7

8.2. 受入研究員等

客員研究員

当所の研究の効率的な推進に資することを目的とし、当該研究に関する高度の専門知識を有し、当該研究を円滑に実施する能力がある研究者を客員研究員として受け入れている。平成 26 年度は次の 35 名を受け入れた（外国人特別研究員制度による受入を除く）。

大竹秀明

期 間：H26. 4. 1～H27. 3. 31

研究課題名：重点研究「メソスケール気象予測の改善と防災気象情報の高度化に関する研究」

受入研究部：予報研究部

伊藤耕介

期 間：H26. 4. 1～H27. 3. 31

研究課題名：重点研究「メソスケール気象予測の改善と防災気象情報の高度化に関する研究」

受入研究部：予報研究部

大泉 伝

期 間：H26. 4. 1～H27. 3. 31

研究課題名：重点研究「メソスケール気象予測の改善と防災気象情報の高度化に関する研究」

受入研究部：予報研究部

黒田 徹

期 間：H26. 4. 1～H27. 3. 31

研究課題名：重点研究「メソスケール気象予測の改善と防災気象情報の高度化に関する研究」

受入研究部：予報研究部

Le Duc

期 間：H26. 4. 1～H27. 3. 31

研究課題名：重点研究「メソスケール気象予測の改善と防災気象情報の高度化に関する研究」

受入研究部：予報研究部

野田 彰

期 間：H26. 4. 1～H27. 3. 31

研究課題名：重点研究「気候モデルの高度化と気候・環境の長期変動に関する研究」

受入研究部：気候研究部

納多哲史

期 間：H26. 4. 10～H27. 3. 31

研究課題名：重点研究「気候モデルの高度化と気候・環境の長期変動に関する研究」、科研費（基盤研究 S）「成層圏-対流圏結合系における極端気象変動の現在・過去・未来」

受入研究部：気候研究部

荒川 理

期 間：H26. 4. 1～H27. 3. 31

研究課題名：重点研究「気候モデルの高度化と気候・環境の長期変動に関する研究」

受入研究部：気候研究部

鬼頭昭雄

期 間：H26. 4. 1～H27. 3. 31

研究課題名：重点研究「気候モデルの高度化と気候・環境の長期変動に関する研究」、共同研究
(筑波大学)「気候変動リスク情報の基盤技術開発」

受入研究部：気候研究部

小山博司

期 間：H26. 4. 1～H27. 3. 31

研究課題名：重点研究「気候モデルの高度化と気候・環境の長期変動に関する研究」、気候変動
リスク情報創生プログラム(文部科学省) テーマ A「直面する地球環境変動の予測
と診断」

受入研究部：気候研究部

杉 正人

期 間：H26. 4. 1～H27. 3. 31

研究課題名：重点研究「気候モデルの高度化と気候・環境の長期変動に関する研究」、共同研究
(筑波大学)「気候変動リスク情報の基盤技術開発」

受入研究部：気候研究部

村上裕之

期 間：H26. 4. 1～H27. 3. 31

研究課題名：重点研究「気候モデルの高度化と気候・環境の長期変動に関する研究」

受入研究部：気候研究部

松枝未遠

期 間：H26. 4. 1～H27. 3. 31

研究課題名：重点研究「台風の進路予報・強度解析の精度向上に資する研究」

受入研究部：台風研究部

山岬正紀

期 間：H26. 4. 1～H27. 3. 31

研究課題名：重点研究「台風の進路予報・強度解析の精度向上に資する研究」、HPCI 戦略プロ
グラム「超高精度メソスケール気象予測の実証」

受入研究部：台風研究部

柴田清孝

期 間：H26. 4. 1～H27. 3. 31

研究課題名：重点研究「地球環境監視・予測・診断技術高度化に関する研究」、科研費(基盤 A)
「ライダーと数値モデルによる日本域オゾン・エアロゾルの高解像度監視・予測」

技術の研究」

受入研究部：環境・応用気象研究部

金田幸恵

期 間：H26. 4. 1～H27. 3. 31

研究課題名：重点研究「気候モデルの高度化と気候・環境の長期変動に関する研究」
創生プロ(文科省) テーマC「気候変動リスク情報の基盤技術開発」

受入研究部：環境・応用気象研究部

栗原和夫

期 間：H26. 4. 1～H27. 3. 31

研究課題名：重点研究「気候モデルの高度化と気候・環境の長期変動に関する研究」
受入研究部：環境・応用気象研究部

日比野研志

期 間：H26. 4. 1～H27. 3. 31

研究課題名：重点研究「気候モデルの高度化と気候・環境の長期変動に関する研究」
創生プロ(文科省) テーマC「気候変動リスク情報の基盤技術開発」

受入研究部：環境・応用気象研究部

佐藤陽祐

期 間：H26. 4. 1～H27. 3. 31

研究課題名：重点研究「地球環境監視・診断・予測技術高度化に関する研究」
受入研究部：環境・応用気象研究部

伊藤純至

期 間：H26. 4. 1～H27. 3. 31

研究課題名：一般研究「大気境界層過程の乱流スキーム高度化に関する研究」
受入研究部：環境・応用気象研究部

真野裕三

期 間：H26. 4. 1～H27. 3. 31

研究課題名：重点研究「顕著現象監視予測技術の高度化に関する研究」
受入研究部：気象衛星・観測システム研究部

石原正仁

期 間：H26. 4. 1～H27. 3. 31

研究課題名：重点研究「顕著現象監視予測技術の高度化に関する研究」
受入研究部：気象衛星・観測システム研究部

小林隆久

期 間：H26. 4. 1～H27. 3. 31

研究課題名：重点研究「顕著現象監視予測技術の高度化に関する研究」
受入研究部：気象衛星・観測システム研究部

高谷美正

期 間：H26. 4. 1～H27. 3. 31

研究課題名：重点研究「顕著現象監視予測技術の高度化に関する研究」

受入研究部：気象衛星・観測システム研究部

田畑 明

期 間：H26. 4. 1～H27. 3. 31

研究課題名：重点研究「顕著現象監視予測技術の高度化に関する研究」

科学技術戦略推進費「極端気象に強い都市創り」

受入研究部：気象衛星・観測システム研究部

内野 修

期 間：H26. 4. 1～H27. 3. 31

研究課題名：重点研究「地球環境監視・診断・予測技術高度化に関する研究」

受入研究部：気象衛星・観測システム研究部

新井健一郎

期 間：H26. 4. 1～H27. 3. 31

研究課題名：重点研究「顕著現象監視予測技術の高度化に関する研究」

受入研究部：気象衛星・観測システム研究部

加藤亮平

期 間：H26. 4. 1～H27. 2. 15

研究課題名：重点研究「顕著現象監視予測技術の高度化に関する研究」

受入研究部：気象衛星・観測システム研究部

西橋政秀

期 間：H26. 4. 1～H27. 2. 28

研究課題名：重点研究「顕著現象監視予測技術の高度化に関する研究」

受入研究部：気象衛星・観測システム研究部

藤原忠誠

期 間：H26. 4. 1～H27. 3. 31

研究課題名：重点研究「顕著現象監視予測技術の高度化に関する研究」

受入研究部：気象衛星・観測システム研究部

岡田正實

期 間：H26. 4. 1～H27. 3. 31

研究課題名：重点研究「地震活動・地殻変動監視の高度化に関する研究」

受入研究部：地震津波研究部

吉川澄夫

期 間：H26. 4. 1～H27. 3. 31

研究課題名：重点研究「地震活動・地殻変動監視の高度化に関する研究」

受入研究部：地震津波研究部

平田賢治

期 間：H26. 4. 1～H27. 3. 31

研究課題名：重点研究「津波の予測手法の高度化に関する研究」、「海溝沿い巨大地震の地震像の即時的把握に関する研究」

受入研究部：地震津波研究部

石崎 廣

期 間：H26. 4. 1～H27. 3. 31

研究課題名：一般研究「海洋モデルの高度化に関する研究」

受入研究部：海洋・地球化学研究部

千葉 長

期 間：H26. 4. 1～H27. 3. 31

研究課題名：重点研究「地球環境監視・診断・予測技術高度化に関する研究」

受入研究部：海洋・地球化学研究部

支援研究員

当該研究に関する高度な専門知識を有し、当所研究の効率的な推進に資することを目的とし、人材派遣会社との契約により気象研究所に派遣される研究支援者のうち、所長の承認を受けた者を「気象研究所支援研究員」としている。平成 26 年度は次の 2 名を支援研究員とした。

神代 剛

期 間：H26. 4. 1 ～H27. 3. 31

研究課題名：重点研究「気候モデルの高度化と気候・環境の長期変動に関する研究」

受入研究部：気候研究部

島田 利元

期 間：H26. 9. 20～H27. 3. 31

研究課題名：地球環境変動観測ミッション人工衛星プロジェクトに関する共同研究
「GCOM-C/SGLI による雪氷アルゴリズム高度化・新規開発及び、地上観測と気候
モデルによる検証に関する研究」

受入研究部：気候研究部

8. 3. 海外研究機関等からの来訪者等

招聘研究者

Dr. Lokesh Kumar Sahu (インド物理学研究所)

期 間：平成 26 年 9 月 23 日～平成 26 年 10 月 15 日

Dr. Varun Sheel (インド物理学研究所)

期 間：平成 26 年 10 月 11 日～平成 26 年 11 月 8 日

用 務：数値シミュレーションと旅客航空機観測による南アジア域の大気汚染物質の挙動解明に関する共同研究を遂行する。

担当研究者：梶野瑞王（環境・応用気象研究部）

Dr. Daniel P. Stern (アメリカ 米国大気研究センター)

期 間：平成 26 年 12 月 11 日～平成 26 年 12 月 12 日

用 務：平成 26 年度科学研究費助成事業 「台風強度に関する外的要因の診断のための数値的研究」の研究課題に関して、講演及び議論・情報収集を行う。

担当研究者：山口宗彦（台風研究部）

Dr. Erwin Eka Syahputra Makmur (インドネシア気象局)

Mr. Suratno (インドネシア気象局)

Mr. Wahyu Widiyanto (インドネシア気象局)

Ms. Welly Fitria (インドネシア気象局)

Ms. Mangisi Sumihar Yuliyanti (インドネシア気象局)

期 間：平成 26 年 10 月 27 日～平成 26 年 10 月 30 日

用 務：文部科学省 創生プログラムテーマ C「気候変動リスク情報の基盤技術開発」における今後の研究連携に向けて打合せを行う。

担当研究者：佐々木秀孝（環境・応用気象研究部）

Dr. Keith Bradley Rodgers (アメリカ プリンストン大学)

期 間：平成 26 年 12 月 8 日～平成 26 年 12 月 19 日

用 務：平成 26 年度科学研究費助成事業 「海洋生元素地理の高精度観測からの新海洋区系」の研究課題に関して、議論・情報収集を行う。

担当研究者：石井雅男（海洋・地球化学研究部）

Mr. César Núñez Correa (チリ 海軍水路海洋局)

Mr. Joaquín Meza Araya (チリ フェデリコサンタマリア工科大学)

期 間：平成 26 年 8 月 31 日～平成 26 年 10 月 19 日

用 務：地球規模課題対応国際科学技術協力事業 「津波に強い地域づくり技術の向上に関する研究」の一環として、チリ共和国の津波警報に適した沖合津波観測網配置の検討に向けて、波源推定による津波予測手法の習得する。

担当研究者：対馬弘晃（地震津波研究部）

JICA 研修受け入れ

平成 26 年度 課題別地域別研修「アジア地域 水害被害の軽減に向けた対策」コース

Mr. CHWDHURY Mohammad Faysal (バングラデシュ)

Mr. CHWDHURY Naba Kumar (バングラデシュ)

Mr. ANGINA Venkata Narayana (インド)

Mr. KYAW Zin Than (ミャンマー)

Ms. Sndar Hlaing (ミャンマー)

Mr. Moazzam Zafar (パキスタン)

Mr. Muhammad Ashar (パキスタン)

Ms. UYAM Rudy Atienza (フィリピン)

Ms. VERGARA Rhonalyn Ligtas (フィリピン)

Ms. CHUERSUWAN Sukanda (タイ)

期 間：平成 26 年 5 月 27 日

対応研究者：仲江川敏之（気候研究部）、足立アホロ（気象観測・観測システム研究部）、橋本明弘（予報研究部）

平成 26 年度 課題別研修「気象業務能力向上」

Mr. MANEA Bates Nitoro (クック諸島)

Ms. SUSILAWATI Asri (インドネシア)

Ms. MISOMPHANE Phetsakhone (ラオス)

Ms. GAONJUR Vandana (モーリシャス)

Ms. Han Swe (ミャンマー)

Mr. PITA GAMPALAGE Yasarithna (スリランカ)

Mr. IARIS Tom Natick (バヌアツ)

Mr. TSHEWANG Karma (ブータン)

期 間：平成 26 年 9 月 24 日、11 月 17 日、20～21 日、25 日

対応研究者：山田芳則（予報研究部）、仲江川敏之、原田やよい（気候研究部）、小山亮、沢田雅洋、嶋田宇大、櫻木智明（台風研究部）、眞木貴史、高薮出、佐々木秀孝、五十嵐康人、青柳暁典、萩野谷成徳、毛利英明、川端康弘（環境・応用気象研究部）、永井智広、酒井哲（気象衛星・観測システム研究部）、山中吾郎、中野英之、坂本圭、浦川省吾、倉賀野連、碓氷典久、豊田隆寛（海洋・地球化学研究部）、杉正人（気候研究部客員研究員）、尾瀬智昭（気候研究部）

平成 26 年度 課題別研修「気候変動への適応」コース

Mr. VIVANCO FONT Enrique Jose (チリ)

Mr. GONZALEZ BONILLA Hector Eduardo (エルサルバドル)

Ms. BALEISOLOMONE Arieta Daphine (フィジー)

Ms. HARNIATI Nuki (インドネシア)

Mr. WIDIANTONO Doni Janarto (インドネシア)

Ms. GUJADHUR Teesha (モーリシャス)

Ms. SADAYEN Roocomaree (モーリシャス)

Ms. MAIAVA-PAPALLI Emelyn Nia (サモア)

Mr. AH KUOI Tame Joseph (サモア)

Ms. RADULOVIC Dragana (セルビア)

Mr. Dissanayake Mudiyanseelage Pradeep Thusitha DISSANAYAKE (スリランカ)

Ms. PHAM Thi Tra My (ベトナム)

Mr. BUI Tuan Hai (ベトナム)

期 間：平成 26 年 10 月 15 日

対応研究者：仲江川敏之、水田亮、今田由紀子（気候研究部）

9. 委員・専門家等

ここでは、平成 26 年度に気象研究所の職員が外部機関から委嘱を受けた委員・専門家等（平成 26 年度以前から継続しているものも含む）について、個人別に五十音順で掲載している。

9.1. 国際機関の委員・専門家

青木輝夫	・ 国際宇宙空間研究委員会（COSPAR）サブコミッション A2 委員
青梨和正	・ WMO 気象衛星のための調整グループ（CGMS）＊ 国際降水ワーキンググループ（IPWG）共同議長
石井雅男	・ ユネスコ政府間海洋学委員会（IOC）国際海洋炭素連携プロジェクト（IOCCP）科学運営グループ委員 ・ 全球海洋観測システム（GOOS）＊生物地球化学のための海洋観測パネル（BGCP）＊メンバー ・ 北太平洋海洋科学機関（PICES）気候－炭素部会委員 ・ WMO/IOC 合同海洋・海上気象専門委員会（JCOMM）現場観測支援センター（OPS）＊ 全球船舶海洋観測研究プログラム（GO-SHIP） 推進委員
碓氷典久	・ WMO/IOC 合同海洋・海上気象専門委員会（JCOMM）＊ 全球海洋データ同化実験海洋概観プロジェクト沿岸・大陸棚タスクチーム（COSStt）メンバー
大塚道子	・ WMO 測器観測法委員会（CIMO）＊ 標準化と相互比較に関するオープンプログラム分野別グループ 標準化に関する専門家チーム（OPAG-A1-ET-Stand）委員
尾瀬智昭	・ 世界気候研究計画（WCRP）＊ 地域または PRA-RELATED パネル アジアオーストラリアのモンスーンパネル（AAMP）＊
梶野瑞王	・ 日中韓大気汚染物質長距離越境移動研究プロジェクト（LTP）・サブワーキンググループ（SWG）委員
蒲地政文	・ WMO/IOC 合同海洋・海上気象専門委員会（JCOMM）＊ 全球海洋データ同化実験海洋概観プロジェクトパトロン（Patron） 委員 ・ WMO/IOC 合同海洋・海上気象専門委員会（JCOMM）＊ 現業海況予報システムに関するエキスパートチーム（ET-OOFS）委員 ・ WMO/IOC 合同海洋・海上気象専門委員会（JCOMM）＊ 海洋環境緊急対応管理タスクチーム（TT-MEEP）委員 ・ CLIVAR/全球観測と統合化に関するパネル（GSOP）科学運営委員
釜堀弘隆	・ 台風委員会（TC）＊ 台風活動における気候変動のインパクトに関するエキスパートチーム委員
北畠尚子	・ 台風委員会（TC）＊ 研修研究調整グループ（TRCG）委員
倉賀野連	・ WMO/IOC 合同海洋・海上気象専門委員会（JCOMM）＊ 全球海洋データ同化実験海洋概観プロジェクト科学運営チーム（GOVST） 委員
黒田友二	・ 国際気候委員会（ICCL）委員
齊藤和雄	・ 世界天気研究計画（WWRP）＊ メソスケール天気予報研究作業部会（WG-MWFR）委員 ・ WMO 福島第一原発事故に関する気象解析技術タスクチーム＊委員 ・ WMO 大気科学委員会（CAS）＊ WWRP 科学運営委員会（SSC）＊ 研究開発プロジェクト（RDP）＊ 気候変動に伴う極端気象に強い都市創り（TOMACS）＊ 国際科学運営委員会（ISSC）＊

- | | |
|-------|---|
| 酒井 哲 | ・ WMO 測器観測法委員会 (CIMO) * リモートセンシング技術に関する作業部会
新しいリモートセンシング技術に関する専門家チームメンバー |
| 小司禎教 | ・ 全球気候観測システム基準高層観測網(GRUAN) タスクチーム 2 (全球航法衛星システムによる可降水量) 委員
・ 天然資源の開発利用に関する日米会議 (UJNR) 耐風・耐震構造専門部会日本側幹事会委員
・ WMO 大気科学委員会 (CAS) * WWRP 科学運営委員会 (SSC) * 研究開発プロジェクト (RDP) * 気候変動に伴う極端気象に強い都市創り(TOMACS) * 国際科学運営委員会 (ISSC) * |
| 竹内義明 | ・ 台風と社会に関する APEC 研究センター 運営委員 |
| 辻野博之 | ・ 世界気候研究計画 (WCRP) * 気候の変動性及び予測可能性研究計画 (CLIVAR) 海洋モデル開発作業部会 (WGOMD) 委員 |
| 露木 義 | ・ WMO 気候委員会 (CCI) * 委員
・ WMO 気候サービスに関する政府間委員会 (IBCS) * メンバー |
| 仲江川敏之 | ・ WMO 気候委員会 (CCI) * 気候リスクとセクター別気候指標に関する専門家チーム委員
・ 台風委員会作業部会 気象作業部会 気候変動影響専門家チームメンバー |
| 藤井陽介 | ・ WMO/IOC 合同海洋・海上気象専門委員会 (JCOMM) * 全球海洋データ同化実験海洋概観プロジェクト観測システム評価タスクチーム (OSEtt) メンバー |
| 眞木貴史 | ・ 日中韓三カ国環境大臣会合 砂塵嵐ワーキンググループ 専門委員 |
| 三上正男 | ・ 天然資源の開発利用に関する日米会議 (UJNR) 耐風・耐震構造専門部会日本側専門部会作業部会 D 委員
・ WMO SDS-WAS Asia RSG chariman * 砂塵嵐に関する警戒及び評価システムアジア地区運営委員会議長
・ 日中韓三カ国環境大臣会合 砂塵嵐ワーキンググループ 専門委員 |
| 村上正隆 | ・ 世界天気研究計画 (WWRP) * 気象改変専門家チーム 委員 |
| 安田珠幾 | ・ 世界気候研究計画 (WCRP) * 季節から年々規模の気候予測作業部会 (WGSIP) 委員 |
| 山口宗彦 | ・ WMO 大気科学委員会 (CAS) * WWRP 科学運営委員会 (SSC) * 予測可能性・力学過程及びアンサンブル予報に関する作業部会(PDEF) * |
| 和田章義 | ・ WMO 台風委員会 (UNESCSP) Tropical Cyclone Research and Review Associate Editor
・ WMO/IOC 合同海洋・海上気象専門委員会 (JCOMM) * 大気海洋結合モデルによる短期及び中期予報準備チーム (SMRCP-TT) メンバー |

* 世界気象機関 (WMO) に属する委員会等

9. 2. 国内機関の委員・専門家等

- 青木輝夫
- ・ 日本学術会議 環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 IGBP・WCRP・DIVERSITAS 合同分科会 Clic 小委員会委員
 - ・ 国立極地研究所 南極観測審議委員会気水圏専門部会委員
 - ・ 東海大学情報技術センター 地球環境変動観測ミッション (GCOM) 委員会委員
 - ・ 海洋政策研究財団 北極海航路における船舶からのブラックカーボンに関する調査研究委員会委員
 - ・ (公社) 日本気象学会 第 37・38 期 SOLA 編集委員会委員
 - ・ (公社) 日本気象学会 第 37・38 期正野賞候補者推薦委員会委員
 - ・ (公社) 日本雪氷学会 電子情報委員会委員
 - ・ 北海道大学大学院環境科学院 非常勤講師
- 青梨和正
- ・ 東海大学情報技術センター 地球環境変動観測ミッション (GCOM) 委員会委員
 - ・ 東海大学情報技術センター GPM 利用検討委員会委員
 - ・ (一社) 日本航空宇宙工業会 電波センサ間校正標準化委員会委員
- 青柳暁典
- ・ 日本ヒートアイランド学会 理事
 - ・ 日本ヒートアイランド学会 学会誌委員会委員
 - ・ 日本ヒートアイランド学会 学術委員会委員
 - ・ 日本ヒートアイランド学会 企画・全国大会運営委員会委員
 - ・ (公社) 日本気象学会 第 37・38 期天気編集委員会委員
 - ・ (公社) 日本気象学会 第 38 期電子情報委員会委員
- 足立アホロ
- ・ (公社) 日本気象学会 第 37・38 期気象研究ノート編集委員会委員
- 荒木健太郎
- ・ (公社) 日本雪氷学会 電子情報委員会委員
- 五十嵐康人
- ・ 日本学術会議 総合工学委員会・原子力事故対応分科会原発事故による環境汚染調査に関する検討小委員会委員
 - ・ 茨城県 茨城県東海地区環境放射線監視委員会委員
 - ・ (公財) 日本分析センター 環境放射線等モニタリングデータ評価検討会委員
 - ・ 日本エアロゾル学会 理事 (事業企画委員)
 - ・ 東京工業大学大学院 総合理工学研究科 非常勤講師
 - ・ 東京理科大学総合研究機構山岳大気研究部門 客員教授
 - ・ 早稲田大学理工学術院創造理工学研究科 非常勤講師
- 石井雅男
- ・ 日本学術会議 環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 IGBP・WCRP・DIVERSITAS 合同分科会 IMBER 小委員会委員
 - ・ (独) 海洋研究開発機構 IOC 協力推進委員会 海洋観測・気候変動 国内専門部会委員
 - ・ (独) 国立環境研究所 温室効果ガス観測データ標準化WG委員
 - ・ 国立極地研究所 南極観測審議委員会重点研究観測専門部会(VIII期)委員
 - ・ 筑波大学生命環境学群 非常勤講師
- 石井正好
- ・ 文部科学省 「気候変動リスク情報創生プログラム」「直面する地球環境変動の予測と診断」運営委員会委員
 - ・ (公社) 日本気象学会 第 37・38 期 SOLA 編集委員会委員
 - ・ 筑波大学生命環境系 准教授 (連携大学院)
- 石元裕史
- ・ (公社) 日本気象学会 第 37・38 期講演企画委員会委員

- 内山明博 ・ (独) 国立環境研究所 放射観測機器の校正に関するWG委員
・ 福岡大学産学官連携研究機関福岡から診る大気環境研究所 研究員
- 遠藤洋和 ・ (公社) 日本気象学会 第38期電子情報委員会委員
- 大島 長 ・ 海洋政策研究財団 北極海航路における船舶からのブラックカーボンに関する調査研究委員会委員
・ 東京大学大学院理学研究科 客員共同研究員
- 大塚道子 ・ (公社) 日本気象学会 第37・38期天気編集委員会委員
・ (独) 理化学研究所 客員研究員
- 岡本幸三 ・ (公社) 日本気象学会 第37・38期監事
・ (公社) 日本気象学会 第38期学術委員会委員 地球観測衛星部会
・ 東海大学情報技術センター 地球環境変動観測ミッション (GCOM) 委員会委員
・ 東海大学情報技術センター GPM 利用検討委員会委員
・ (独) 理化学研究所 客員研究員
・ (一財) リモート・センシング技術センター 地球観測衛星利用拡大のための地球観測利用戦略コミュニティ形成に関する分科会「気候・環境・気象分科会」委員
- 尾瀬智昭 ・ 日本学術会議 環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 IGBP・WCRP・DIVERSITAS 合同分科会 MAHASRI・GEWEX 小委員会 委員
・ 東海大学情報技術センター GPM 利用検討委員会委員
- 小田真祐子 ・ (公社) 日本気象学会 第37・38期教育と普及委員会委員
- 小畑 淳 ・ (公社) 日本気象学会 第37・38期気象集誌編集委員会委員
- 梶野瑞王 ・ (独) 理化学研究所 客員研究員
・ (公社) 大気環境学会 編集委員会委員
・ 岐阜大学工学部 非常勤講師
- 勝間田明男 ・ (独) 建築研究所 研究評価委員会地震工学分科会委員
・ 文部科学省 地震調査研究推進本部地震調査委員会地下構造モデル検討分科会委員
- 加藤輝之 ・ (公社) 日本気象学会 第37・38期気象集誌編集委員会委員
・ (独) 防災科学技術研究所 大型降雨実験施設運用委員会委員
・ 筑波大学 生命環境系教授 (連携大学院)
- 蒲地政文 ・ 文部科学省 日本ユネスコ国内委員会自然科学小委員会調査委員
・ 日本海洋学会 評議員
・ 日本学術会議 環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 IGBP・WCRP・DIVERSITAS 合同分科会 CLIVAR 小委員会委員
・ (独) 海洋研究開発機構 招聘上席研究員
・ (独) 宇宙航空研究開発機構 海洋・宇宙連携委員会委員
- 釜堀弘隆 ・ 日本学術会議 環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 IGBP・WCRP・DIVERSITAS 合同分科会 MAHASRI・GEWEX 小委員会委員
・ (公社) 日本気象学会 第37・38期SOLA編集委員会委員
- 川瀬宏明 ・ (独) 海洋研究開発機構 招聘研究員
・ (公社) 日本気象学会 2014年度春季大会実行委員
・ (公社) 日本気象学会 第38期教育と普及委員会委員
- 北畠尚子 ・ (公社) 日本気象学会 第37・38期気象研究ノート編集委員会委員
・ (公社) 日本気象学会 第37・38期人材育成・男女共同参画委員会委員

- 楠 研一
- ・（公社）日本気象学会 第37・38期気象災害委員会委員
 - ・（公社）日本気象学会 第37・38期講演企画委員会委員
 - ・（一社）日本鉄道施設協会 局地的大雨に対する降雨観測および運転規制方法等に関する技術検討会幹事
- 楠 昌司
- ・（独）国立環境研究所 平成26年度スーパーコンピュータ研究利用専門委員会委員
 - ・（公社）日本気象学会 第37・38期気象研究ノート編集委員会委員
- 工藤 玲
- ・（公社）日本気象学会 第37・38期講演企画委員会委員
- 國井 勝
- ・（独）理化学研究所 客員研究員
 - ・（公社）日本気象学会 第37・38期講演企画委員会委員
- 倉賀野連
- ・日本海洋学会 評議員
 - ・（独）宇宙航空研究開発機構 海洋・宇宙連携委員会 環境・水産グループ委員
- 黒田友二
- ・日本学術会議 環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 IGBP・WCRP・DIVERSITAS 合同分科会 SPARC 小委員会委員
- 小林ちあき
- ・日本学術会議 環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 IGBP・WCRP・DIVERSITAS 合同分科会 IGAC 小委員会委員
- 財前祐二
- ・日本エアロゾル学会 「エアロゾル研究」編集委員
 - ・東京理科大学総合研究機構 客員准教授
 - ・福岡大学産学官連携研究機関福岡から診る大気環境研究所 研究員
- 齊藤和雄
- ・日本ユネスコ国内委員会 IHP 分科会トレーニング・コース WG 委員会委員
 - ・（独）海洋研究開発機構 招聘上席研究員
 - ・（公社）日本気象学会 第38期学術委員会委員
 - ・（公社）日本気象学会 第37・38期正野賞候補者推薦委員会委員
 - ・（公社）日本気象学会 第37・38期 SOLA 編集委員会委員
 - ・東北大学大学院理化学研究科 大気科学先端地球科学特殊講義Ⅰ 非常勤講師
- 佐々木秀孝
- ・環境省地球環境局 中央環境審議会専門委員
 - ・パシフィックコンサルタンツ株式会社（環境省委託）平成26年度気候変動適応計画検討支援業務「気候変動の影響に関する分野別ワーキンググループ」産業・経済活動、国民生活・都市生活分野委員
- 佐藤英一
- ・（一社）日本風工学会 風災害研究会委員
- 澤 庸介
- ・（独）産業技術総合研究所 客員研究員
 - ・日本大気化学会 運営委員会委員
 - ・（公社）日本地球惑星科学連合 プログラム委員
- 沢田雅洋
- ・（公社）日本気象学会 第38期講演企画委員会委員
- 小司禎教
- ・（独）土木研究所 天然資源の開発利用に関する日米会議耐風・耐震構造専門部会 日本側幹事会委員
 - ・（独）防災科学技術研究所 気候変動に伴う極端気象に強い都市創りに関する運営委員
 - ・（公社）日本気象学会 第38期気象災害委員会委員
 - ・（公社）日本地球惑星科学連合 環境・防災対応委員会委員
 - ・（独）土木研究所 天然資源の開発利用に関する日米会議 耐風・耐震構造専門部会 幹事会委員
- 新藤永樹
- ・（公社）日本気象学会 第38期役員選挙管理委員会委員
- 清野直子
- ・（公社）日本地球惑星科学連合 男女共同参画委員会委員

- ・（公社）日本気象学会 第37・38期気象研究ノート編集委員会委員
- ・（公社）日本気象学会 第37・38期人材育成・男女共同参画委員会委員
- 関山 剛
 - ・日本学術会議 環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 IGBP・WCRP・DIVERSITAS 合同分科会 SPARC 小委員会委員
 - ・茨城県 東海地区環境放射線監視委員会評価部会専門員
 - ・茨城県生活環境部防災・危機管理局原子力安全対策課 茨城県緊急時モニタリング計画等検討委員会委員
- ・（公社）日本気象学会 第37・38期天気編集委員会委員
- 瀬古 弘
 - ・（独）海洋研究開発機構 招聘上席研究員
 - ・（独）理化学研究所 客員主管研究員
- 高薮 出
 - ・（一財）リモート・センシング技術センター IPCC WG1 国内幹事会委員
 - ・文部科学省 「気候変動リスク情報創生プログラム」「直面する地球環境変動の予測と診断」運営委員会委員
- 竹内義明
 - ・（独）土木研究所 天然資源の開発利用に関する日米会議 耐風・耐震構造専門部会 専門部会・作業部会委員
- 津口裕茂
 - ・（公社）日本気象学会 第37・38期教育と普及委員会委員
- 辻野博之
 - ・（公社）日本気象学会 第37・38期 SOLA 編集委員会委員
- 対馬弘晃
 - ・筑波大学「巨大地震による複合災害の統合的リスクマネジメント」研究プロジェクトメンバー
- 露木 義
 - ・（公社）日本気象学会 第38期学会賞候補者推薦委員会委員
 - ・（独）海洋研究開発機構 HPCI 戦略プログラム分野3「防災・減災に資する地球変動予測」運営委員会委員
- 出牛 真
 - ・（公社）日本気象学会 第37・38期講演企画委員会委員
- 永井智広
 - ・理化学研究所 客員研究員
 - ・（公社）計測自動制御学会 計測部門リモートセンシング部会運営委員
 - ・レーザーレーダ研究会 運営委員
- 仲江川敏之
 - ・国土交通省水管理・国土保全局水資源部 「水資源分野における気候変動への適応策のあり方検討会」委員
 - ・鶴見川流域水協議会代表事務局 国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所 気候変動に適応した治水対策検討専門部会委員
 - ・東京大学生産技術研究所 研究員
 - ・（一財）リモート・センシング技術センター IPCC WG1 国内幹事会委員
 - ・（公社）日本気象学会 第37・38期 SOLA 編集委員会委員
 - ・（一社）水文・水資源学会 理事
 - ・（一社）水文・水資源学会 国際誌編集委員会委員長
 - ・（一社）水文・水資源学会 編集出版委員会 委員総務委員会 委員
- 永田 雅
 - ・（公社）日本気象学会 第38期岸保賞候補者推薦委員会委員
- 丹羽洋介
 - ・（独）国立環境研究所 温室効果ガス観測技術衛星2型サイエンスチーム メンバー
 - ・（独）産業技術総合研究所 客員研究員
 - ・（独）宇宙航空研究開発機構 第一衛星利用ミッション本部 GOSAT-2 プロジェクトチーム 研究員
- 庭野匡思
 - ・（公社）日本雪氷学会 電子情報委員会委員
 - ・（公社）日本気象学会 第37・38期天気編集委員会委員

- 萩野谷成徳 ・ (公社) 日本気象学会 第 37・38 期天気編集委員会委員
 ・ (公社) 日本気象学会 第 23 回風工学シンポジウム査読委員
- 橋本明弘 ・ (公社) 日本気象学会 第 37・38 期講演企画委員会委員
 ・ (公社) 日本気象学会 第 37・38 期人材育成・男女共同参画委員会委員
- 林 修吾 ・ (公社) 日本気象学会 第 37・38 期天気編集委員会委員
 ・ (公社) 日本気象学会 第 37・38 期気象災害委員会委員
 ・ (一社) 日本鉄道施設協会 局地的大雨に対する降雨観測および運転規制方法等に関する技術検討会幹事
- 林 豊 ・ 歴史地震研究会 幹事 (総務委員長)
 ・ (公社) 日本地震学会 大会・企画委員会委員
 ・ (公社) 日本地震学会 学生優秀発表賞選考委員会委員
- 弘瀬冬樹 ・ (独) 建築研究所 国際地震工学研修カリキュラム部会委員
 ・ (公社) 日本地震学会 広報委員会委員
- 藤部文昭 ・ 筑波大学 生命環境系教授 (連携大学院)
 ・ 日本ヒートアイランド学会 理事
 ・ パシフィックコンサルタント株式会社 (環境省委託) 平成 26 年度気候変動適応計画検討支援業務「気候変動の影響に関する分野別ワーキンググループ」産業・経済活動、国民生活・都市生活分野臨時委員
 ・ (一社) 日本風工学会 運営・学術委員会委員
 ・ (一社) 日本風工学会 代表委員会委員
 ・ (公社) 日本気象学会 第 37・38 期理事
 ・ (公社) 日本気象学会 第 37・38 期企画調整委員会委員
 ・ (公社) 日本気象学会 第 37・38 期天気編集委員会委員長
 ・ (公社) 日本気象学会 第 37・38 期講演企画委員会副委員長
 ・ (公社) 日本気象学会 第 37 期電子情報委員会委員
 ・ (公社) 日本気象学会 第 38 期名誉会員候補者推薦委員会委員
 ・ (公社) 日本気象学会 第 23 回風工学シンポジウム運営委員長
- 干場充之 ・ 文部科学省 地震調査研究推進本部地震調査委員会強振動評価部会強振動予測手法検討分科会委員
 ・ (公社) 日本地震学会 通常代議員
 ・ (公社) 日本地震学会 強震動委員会委員
- 前田憲二 ・ 国土地理院 地震予知連絡会第 23 期委員
 ・ (独) 土木研究所 天然資源の開発利用に関する日米会議 耐風・耐震構造専門部会委員
 ・ (独) 防災科学技術研究所 海底地震津波観測データ利活用ワーキンググループ委員
 ・ (独) 防災科学技術研究所 日本海溝海底地震津波観測網の整備に関する運営委員会委員
 ・ 文部科学省 地震調査研究推進本部地震調査委員会長期評価部会委員
 ・ 文部科学省 地震調査研究推進本部地震調査委員会長期評価部会海溝型分科会委員
 ・ 文部科学省 地震調査研究推進本部地震調査委員会高感度地震観測データの処理方法の改善に関する小委員会委員
 ・ 文部科学省 地震調査研究推進本部地震調査委員会地震活動の予測的な評価手法検討小委員会委員

- 益子 渉 ・ (公社) 日本気象学会 第 37・38 期講演企画委員会委員
- 松枝秀和 ・ (独) 国立環境研究所 温室効果ガス観測データ標準化 WG 委員
- ・ (独) 国立環境研究所地球環境研究センター 運営委員会委員
- 三上正男 ・ (独) 土木研究所 天然資源の開発利用に関する日米会議 耐風・耐震構造専門部
会 作業部会委員
- ・ (独) 情報通信研究機構 次世代安心・安全 ICT フォーラム運営委員
- ・ (一財) 日本環境衛生センター 平成 26 年度黄砂問題検討会委員
- ・ (公社) 日本気象学会 第 37・38 期理事
- ・ (公社) 日本気象学会 第 37・38 期企画調整委員会委員
- ・ (公社) 日本気象学会 第 37・38 期学術委員会委員
- ・ (公社) 日本気象学会 第 37・38 期講演企画委員会委員長
- ・ (公社) 日本気象学会 第 37・38 期教育と普及委員会委員長
- ・ (公社) 日本気象学会 第 37・38 期地球環境問題委員会委員
- ・ (公社) 日本気象学会 第 37・38 期奨励賞候補者選考委員会委員長
- ・ (公社) 日本気象学会 第 37 期 SOLA 編集委員会副委員長
- 水田 亮 ・ (公社) 日本気象学会 第 38 期気象集誌編集委員会委員
- 村上正隆 ・ 東京大学大気海洋研究所 非常勤講師 (客員教授)
- ・ 東海大学情報技術センター GPM 利用検討委員会委員
- 毛利英明 ・ 防衛省技術研究本部 外部評価委員会委員
- 安田珠幾 ・ (公社) 日本気象学会 第 38 期地球環境問題委員会委員
- 山内 洋 ・ (財) 河川情報センター レーダ活用による河川情報高度化検討会 X バンドレーダ分
科会委員
- 山口宗彦 ・ 東海大学情報技術センター GPM 利用検討委員会委員
- ・ (公社) 日本気象学会 第 38 期学術委員会委員
- 山崎明宏 ・ 福岡大学産学官連携研究機関福岡から診る大気環境研究所 研究員
- 山田眞吾 ・ (独) 土木研究所 天然資源の開発利用に関する日米会議耐風・耐震構造専門部会委
員および作業部会委員
- 山田芳則 ・ (一社) 電気学会 「再生可能エネルギー出力予測とその利用技術調査専門委員会」
委員
- 山中吾郎 ・ 日本海洋学会 評議員
- ・ 日本海洋学会 幹事
- 山本剛靖 ・ (独) 防災科学技術研究所 課題①津波予測技術運営委員会委員
- ・ (独) 防災科学技術研究所 海底地震津波観測データ利活用ワーキンググループ委員
- 山本 哲 ・ 気象測器研究会 研究テーマ「転倒ます型雨量計の比較観測実験」専門家
- 山本哲也 ・ 火山噴火予知連絡会 霧島山 (新燃岳) 総合観測班幹事
- 行本誠史 ・ (公社) 日本気象学会 第 37・38 期気象集誌編集委員会委員
- 弓本桂也 ・ 九州大学大気環境統合研究センター 客員研究員 (准教授)
- 横田 祥 ・ (公社) 日本気象学会 第 38 期講演企画委員会委員
- 横山博文 ・ 火山噴火予知連絡会 火山噴火予知連絡会委員
- ・ 火山噴火予知連絡会 伊豆部会、火山活動評価検討会、火山観測体制等に関する検討
会 委員
- 吉田 智 ・ 日本大気電気学会 第 23 期運営委員 (学会誌担当)